

RDI社 L - ADCPをご利用のお客様へ改善対策実施のご案内

平素よりRDI社製L - ADCPをご利用いただき、誠にありがとうございます。

弊社ではL - ADCPにつきまして、下記内容の無償修理を実施させていただくことに致しました。

バッテリーケースの改善対策

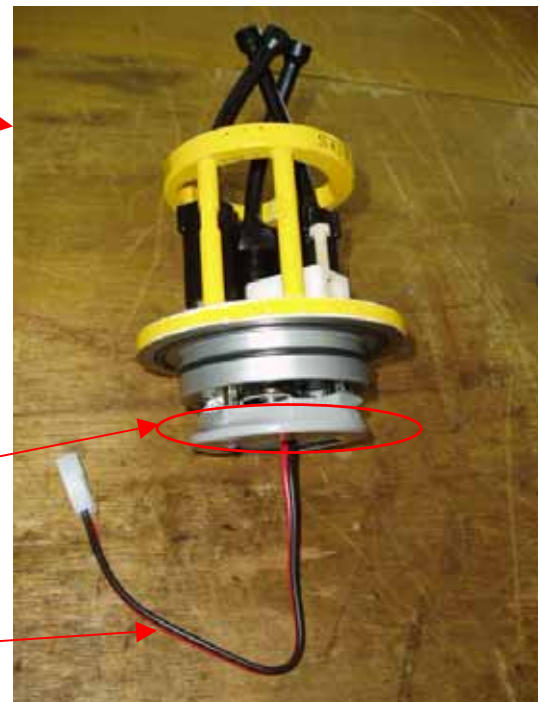
不具合の部位(部品名)	バッテリーケース トップキャップ
不具合の状態	マグネットスイッチが破損し、ADCPへの電力供給が出来なくなるおそれがある。
原因	電流回路が現状では、大電流をそのままマグネットスイッチを介してADCPに供給する設計になっている。そのため長期間使用した場合スイッチ内部のリード線が劣化し破損する。
改善対策の内容	トップキャップに電力がマグネットスイッチを通らないバイパス回路を設けた対策基板を新設する。
対象機種	1997年以降に製作された、すべてのL-ADCP用バッテリーケース。
対策後の識別	トップキャップのバッテリーへの接続用配線が赤/黒になる。

改善箇所説明図

L-ADCP バッテリーケース



トップキャップ対策後



この部分に対策基板を新設します。

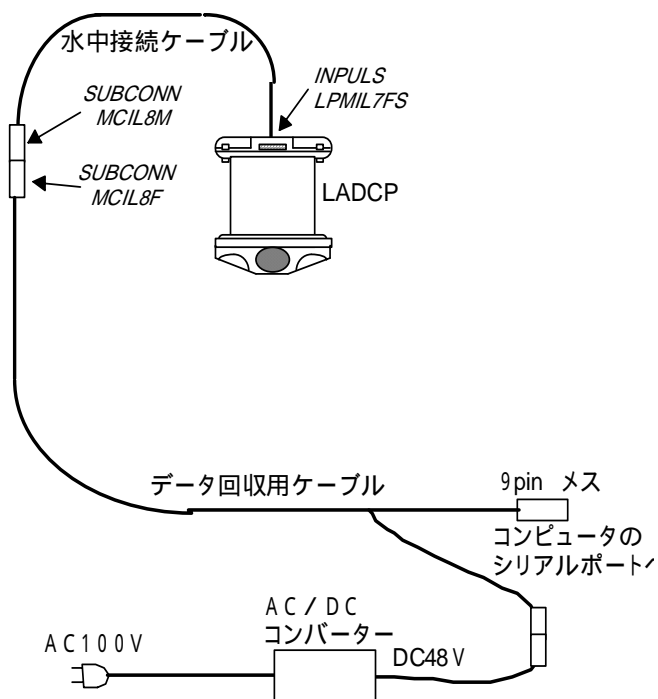
対策後の識別は、この配線が赤/黒
になっていることで分かります。
対策前は白い配線です。

L-ADCPデータ回収専用ケーブルの無償提供

データ回収時の新旧比較

	新	旧
接続方法	バッテリーケースとLADCPを接続している水中コネクタのバッテリーケース側を抜き、データ回収専用ケーブルを接続する。	コミュニケーションYケーブルをバッテリーケースのCOMSコネクタに接続。またはRDI社純正通信ケーブルをADCP本体に接続する。
作業性	バッテリーケース周辺は、比較的スペースがあるので作業が容易である。 また、フレームからの垂れ水も避けられるのでコネクタ部の濡水の危険が少ない。	RDI社純正通信ケーブルを使用する場合には、ADCP本体に直接コネクタを接続する。 ADCPのフレームへの設置の仕方によっては、フレームからADCPを外さなければならない。 また、コネクタ部濡水の危険もある。
電力消費	AC/DCコンバータを使用する外部電源供給方式なのでバッテリーは消耗しない。	コミュニケーションYケーブルを使用する場合、バッテリーを消耗する。

データ回収専用ケーブル接続図



ケーブル無償提供数は所有するバッテリーケースの数となります。それ以上をご希望の場合は有償となります。

ケーブルの長さは2.5mが標準です。

これ以外の長さを希望の場合はご相談ください。

上記2点を2005年10月より実施させていただきます。

誠に勝手ではございますが、今回の作業は予約制とさせていただきます。

作業に際し、バッテリーケース本体を2週間程度お預かりすることになりますので、観測日程などを考慮した上で実施日を決めたいと思います。また、この機会にL-ADCPの点検整備を実施されることをお勧めします。(有料)

この件に関するご質問、問い合わせは、**技術部 加藤 または 高橋**までお願いします。

TEL : 047-356-4661

Eメール: kato@seanet.co.jp

takahasi@seanet.co.jp